

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 3月 12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900010		
法人名	社会福祉法人 本郷福祉会		
事業所名	梅菅園グループホーム		
所在地	広島県三原市下北方1丁目8番12号 (電話) 0848-85-0755		
自己評価作成日	平成30年2月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900010-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年3月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者が穏やかに過ごし、ご家族が気軽に立ち寄れる明るい生活の場になるよう心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ショッピングセンター、協力医療機関などが徒歩圏内である。住環境は快適な生活空間で、トイレ、洗面所、リビングの位置など、使い勝手が良い。地域交流スペースを活用し、認知症カフェを開催、隣接の保育園、ボランティアが訪問され、利用者との交流が図られている。”もし自分の親だったら、どうだろうか”常に念頭に置き、相手の立場になって、職員中心でなく、利用者中心で物事を考え、職員の都合を押し付けないようにしている。”今までの生活習慣、普段の生活が継続できるように、利用者の笑顔が見たい想いで”職員間で話し合いを重ねて、日々のケアに精進されている。働きやすい職場づくりでもあり、勤続年数が長い方が多く、馴染みの職員が関わることにより、利用者の方は、安心して生活されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「家庭的な環境の下、利用者がその有する能力に応じ自立した生活を営み、地域の中で暮らし続ける」という理念を踏まえたケアを職員一同努めている。	開所当初（H18.10.1）からの理念を基に、月1回のカンファレンスで共有している。法人としての理念、方針が明確になっている。各職員の”チャレンジ目標計画書”を用いて、年2回、個人目標を作り上げ、理念と照らし合わせながら、実践されている。事業所の取り組み状況は、管理者から代表者（事務長）へ報告をされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や買い物、通院時などの際には積極的に挨拶をして関係作りに努めている。	徒歩園内のショッピングセンターへ行くことにより、知人・友人に会うことが多い。地域交流スペースを活用し、認知症カフェを開催、隣接の保育園、ボランティアが訪問され、利用者との交流が図られている。障害の方の啓発、募金を兼ねたパイロットウォークが毎年され、ホームがゴール地点となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーター養成講座 出前講座		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用状況などの事業報告や行事などの意見を伺いサービス向上に努めている。毎年、運営推進委員の方とご利用者との「交流会」を開催している。	出席メンバーとの信頼関係が構築され、毎回多くの参加メンバーにより開催している。現状を報告し、相談・検討を行い、それらの意見をサービス向上に生かしている。毎年1回、ホームでの状況、利用者の状況を知って頂く目的で、運営推進会議メンバーと利用者との交流会をしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に出席して頂き行政からの意見も伺っている。	開所当初（H18.10.1）から、市との協力関係が継続されている。他の居宅介護支援事業所から、入居相談を受けることが多い。地域包括主催の地域連携交流会に参加し、ネットワーク作りに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部研修、法人研修で学んでいる。日中は玄関の施錠をしておらず、拘束は行っていない。</p>	<p>年2回は、職員が講師（指導者）となって研修をしている。玄関は、安全確認のため、センサーチャイムを活用している。月1回のカンファレンスを通して確認し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修、法人研修で学んでいる。事業所での会議の際にも伝える機会を設けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>数名のご利用者が成年後見制度を利用されており、事業所での会議で伝えている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約・解約時には必ず説明を行い、改定する際には文章でもお伝えしている。また、都度の問い合わせにも応じている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者との対話時、ご家族の面会時に意見や要望をお聞きしながら反映できるように努めている。</p>	<p>毎月のホーム便りに、個人状況確認表、出納簿を添えている。要望の内容は、業務日誌を活用している。ケースによっては、代表者（事務長）に相談し、早期に対応するように努めている。家族の面会時には日頃の様子を家族にお知らせしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>事業所内の会議や申し送り、面接での提案を積極的に取り入れている。</p>	<p>年1回、個人面談を実施し、必要時は定期的に面会をしている。今年度（H29）は、代表者（事務長）が職員の個人面談を実施された。ストレスチェックを実施したり、個別の要望（勤務調整など）に対応し、働きやすい職場環境に努めることにより、勤続年数の長い方が多い。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアパスを導入しており、管理者及び職員の目標や実績、勤務状況を把握して職場環境や条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外研修だけでなく、自発的な研修参加についても配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同法人職員との研修会や、地域包括主催の地域連携交流会に参加し、ネットワーク作りに努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前にはご家族と共にグループホームへ来所して頂き、雰囲気を見ながら話を聞く機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>見学、申し込み、利用前に話しを聞く機会を設け、要望などの把握に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用開始前までに必要としている支援を把握する機会を多く持ち、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>出来る事や可能な事は、見守りや職員と共に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族との外出、外泊時の支援やご本人の希望をご家族に伝えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご近所や知人の訪問も、積極的に受け入れている。</p>	<p>徒歩圏内のスーパーマーケットへの買い物を通して、知人・友人と出会うことが多い。家族と相談しながら、協力を頂き、地域の町内会祭りの参加を継続される方もおられる。友人や知人の面会がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係に配慮した声掛けや、ユニットに関係なく交流できる機会を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	可能な場合、特養や病院などに訪問し関係を継続している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員がご利用者との関わりの中で希望などを引き出したり、ご家族にお聞きしながら個別のアセスメントで意向を確認している。	職員から本人、家族に聴くことに徹し、丁寧にアセスメントをしている。日々の関わりの中、利用者個々の要望を把握できるように努めている。何事も本人本位で物事を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者との会話や、ご家族から生活歴や馴染の暮らしを伺い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	散歩やレクリエーション、入浴などはご本人の意思を尊重し、生活に変化があった場合はアセスメントで現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の関わりの中から得られたご利用者の思いやアセスメントで得られた情報、ご家族の思いも聞きながら介護計画を作成している。</p>	<p>日頃から関わっている職員がアセスメントを実施している。アセスメントの結果は、適切にケアプランに生かされ、一定の期間で見直しをしている。”笑顔が一つでも増える取り組み、安心して生活して頂くためには、どうしたら良いか”を常に考えている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の生活記録をケアプラン、体調、認知行動などの項目ごとにマーカーを入れ、情報を共有しやすくしてモニタリングや見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入院中はご家族の希望があれば必要な物を届けたり、退院に向けた調整をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域ボランティアの受け入れや近隣の買い物支援を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用時に希望を伺い、協力病院への転院にはかかりつけ医からの紹介状をお願いしている。ご家族と共に受診される場合には体調について伝え、記録をお渡ししている。</p>	<p>入居時に相談しながら、かかりつけ医を決めている。ホームとして、協力医の受診、相談など、適切な医療が受けられる体制で、緊急時の連絡体制も整っている。協力病院以外の受診は、家族対応をお願いしている。なお、個人記録または受診記録で管理、共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	看護職員はいないが、協力病院に相談しながら適切な受診や対応ができるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時より入院先の相談員と情報交換を行い、面会や担当医からの説明時には同席し状態把握に努めている。また、通院での治療が可能な場合は、ご家族の意向を伺い早期退院の体制を整えている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	契約時に急変確認を行い、重度化する前にご家族に意向確認を行っている。	医療従事者がいないため、看取りはしない方針である。入居時に、「急変時意向確認書」を交わし、書面は、①家族、②協力医、③ホームが管理し、書面に基づいて、対応している。状態変化に応じて、別紙「確認事項」にて、①入院タイミング、②その他のご要望や希望などを確認し、対応している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	新人職員には法人がAED研修を実施し、救急車要請についてはマニュアルを作成している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年に2回は避難訓練を実施し、地震や水害時の避難を想定したマニュアルを作成している。	水害時の避難として、高台の特別養護老人ホームへの避難訓練を実施したこともある。備蓄関係は、同法人の特別養護老人ホームに準備されている。衛生委員会があり、月1回、ホームでの点検を実施している。玄関には、AED（自動体外式除細動器）を設置されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者からの話は否定せず聞き、声掛けも相手が嫌な思いをしない言葉で行っている。	状況を踏まえて、毎月のカンファレンスで、職員研修を実施している。居室には、鍵が掛けられるようになっており、居室入口ドアのガラスも個々のプライバシーが守られるように、配慮されている。入居相談を受けることもあり、個人情報には、目隠しをするなど、第三者の目に触れないように工夫をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定ができる個々に応じた声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	散歩、レクリエーション、入浴などご利用者の希望に合わせ、食事時間も柔軟に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床、入浴後、外出時の整容支援や衣類購入時には選んでいただいている。美容院への移送支援も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理の下ごしらえ、食器の後片付けなどお願いしている。また、職員も同じ食事を食べている。	3食とも手作りである。誕生日には、職員が本人の好む（おはぎ、お寿司、お赤飯など）食材を提供し、手作りケーキで祝っている。食材の買い出しや本人の能力に応じて、料理の手伝いも行っている。食事時には、職員も利用者の中に入り、楽しく会話をしながら食事をされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日の調理メニューを記録してバランスを考え、嫌いな食材については代替えを用意している。水分、食事量は記録し、摂取量が少ない方は主治医に報告、相談をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>声かけや見守り、準備など一人ひとりに応じた口腔ケアを毎食後に行い、義歯を装着している方は夜間預かり義歯洗浄剤にて消毒している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>失敗のある方には早めの声掛けや誘導など、個々に合わせた排泄ケアを行っている。</p>	<p>座ることを基本としたケアに取り組んでいる。排泄記録表にて、排便のリズムを把握し、トイレ誘導をしている。紙おむつで、皮膚トラブルがある方は、失禁パンツと尿取りパットで試している。個々の排泄状況から、布パンツへの移行など、なるべく紙おむつ使用の削減を図る取り組みをしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄記録表にて排便のリズムを把握し、受診時に報告している。食事内容や水分についても配慮している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日の入浴を基本とし、本人の希望に応じて入って頂いている。拒否があった場合は時間を空けて再度勧めている。</p>	<p>開所当初（H18.10.1）から、毎日の入浴を基本としている。①午前（11：00～12：00）、②午後（14：00～16：00）入浴時間としている。職員の都合で決めず、利用者個々の生活習慣に応じた入浴の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>消灯や起床時間を設けておらず ご本人のリズムに合わせて臥床 して頂いている。日中の休息も ご本人のペースで取って頂いて いる。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>全職員が用法や用量が把握でき るように処方の説明書を個別に ファイルしており、服薬介助も 個々に応じて行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>個々の生活歴や力を活かした役 割を持っていただき、得意な事 や趣味は継続できるよう支援し ている。衣類や化粧品等の購入 はご本人と一緒に店に行き選 んでいただいている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>散歩や買い物などは、ご本人 の希望や必要時に出かけられ るよう支援している。ご家族 との外出時には、準備など支 援を行っている。</p>	<p>ホーム周辺が平坦でもあり、 散歩するには適した立地のた め、気候が良ければ散歩や買 い物などを行っている。七夕 の短冊、お願い事（お寿司が 食べたい）を、家族の方が、 確認され、家族対応にて、回 転寿司を食べに行かれた方も おられる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>個人の買い物については支払 い能力に応じてレジの前で渡 す等の支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時の電話使用は可能で、かかってきた電話の取次も行っている。ご家族の希望で携帯電話を持っている方もおられる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた工作などを展示したり、毎日の掃除により清潔に保つよう努めている。</p>	<p>利用者と一緒に季節に応じた作品を作り、展示している。リビングのカーテンを開けっ放しでも、外からの視線も気にならない。パイロットクラブ（女性部）から、お花（チューリップ、葉牡丹など）を頂き、庭に植えている。ゆったりとした空間により、一人ひとりが心休まり生活されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングに椅子やソファを置き、好きな場所で過ごして頂ける工夫をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用時に馴染みの家具や、希望される物を持って来ていただくようお願いしている。</p>	<p>近隣に、お花を摘みに行くこともあり、居室に飾っている。ホームとして、ベッドと寝具が準備されている。本人が不安にならないように、本人や家族と相談しながら家具と生活必需品を自由に持ち込まれている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご自分で靴を履くために玄関にベンチを置いたり、居室やトイレを理解しやすいよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 梅菅園グループホーム

作成日 H30年 5月11日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議では事業報告が主になっている。	運営推進会議を活かした取組み。	事業所の新しい取組みなどについても意見交換し、地域に貢献できる事業所になる。	1カ年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。